CISPR_B_MT-GCPC 英国チェルトナム会議報告

MT-GCPC 会議(2013年1月15日、16日の2日間)

- ・出席者:エキスパートメンバー(11名) 日本:リーダー、幹事、メンバー2名、ドイツ:3名、英国:1名、フランス:2名、オーストリア:1名
 :オブザーバ(3名) 日本2名、ドイツ1名
- 1. 太陽光発電システム,燃料電池発電システムにおける系統連系インバータ(Grid Connected Power Converters:以下 GCPC)の DC 入力ポートからの妨害波の規格 案(CD)に対する審議結果
 - a) 適用範囲

CISPR11における直流ポートの許容値/測定方法の適用範囲は、現時点では日本提案通り"太陽光発電システム用の GCPC(系統連系パワーコンバータ)"に限定することを同意した。

b) 妨害波測定時の GCPC 運転条件

20kVA 以下 GCPC に対する AC ポート、DC ポートにおける妨害波測定時の GCPC 動作条件については「メーカが定める定格入力電圧、定格出力電圧、定格出力電力 の条件で GCPC を動作させて測定する。」という内容で合意した。

20kVA 超 GCPC に対しては、「系統へ接続するか、もしくは適切な負荷に接続して運転し、直流入力電圧は定格動作範囲内とする。そして出力電力は事前試験を行って最大の妨害波が発生する条件を予め決定して実施する。事前試験はメーカもしくは顧客建屋で実施できる。」という内容で合意した。

c) 許容値

20 k VA 超の GCPC 許容値について、"> 20 kVA to \leq 75 kVA" と ">75 k VA"の 2 つの区分とし、">75 k VA"の許容値は"> 20 kVA to \leq 75 kVA" の許容値に 16 d B 加えた値とすることを合意した。

d) 測定方法

20kVA 超 GCPC に対する測定方法について、定格出力が大きい GCPC においては、代替測定方法Bとして、電流プローブを用いて妨害波電流も測定するとともに、直流電源に DC-AN を並列に接続して、DC-AN を電圧プローブとして使用して妨害波電圧を測定する方法を採用することが合意された。この方法については、

ad-hoc group を構成して CISPR 32 、IEC 61000-4-6 を参照して検討し 3rdCD (案) を作成することが合意された。

f) 妨害波測定時のセットアップ方法

20kVA 以下 GCPC に対する測定時のセットアップ方法について、直流電源の入力に GCPC 出力を接続して電力ループを形成する方法も含めて平面図と立体図で informative のアネックス Y として添付する。この中で被試験装置 (EUT) の配置については CISPR16-2-1 に従い、テーブル高さ 40cm の場合は壁面からの距離 0.8m以上、テーブル高さ 80cm の場合は壁面からの距離 40cm と規定する。

e) DC-AN (擬似回路網) 要求事項

V タイプ(ドイツ推奨)とデルタタイプ(日本推奨)の双方を優先順位をつけずに使用できることを合意した。**DC-AN** の LCL 値について CISPR16 に従って 26dB 以上に変更された。(変更前は 20dB 以上)

f) 許容値の妥当性検証

太陽光発電システム用 GCPC の直流ポートに対して提案している許容値の妥当性 についてはバンコク会議における日本からの提案文書の改定版によって確認でき たことが合意された。

2. 太陽光発電システム用の GCPC 以外の電力変換装置に対する規格化動向

太陽光発電システム用のGCPC以外(例えば電気自動車用の充電器に採用されている)のDC/AC、あるいはAC/DC電力変換装置に対する規格化検討はMT-GCPCでは審議せず、今後はWG1において継続審議を行う。また、系統に繋がらない独立型の太陽光発電システムに用いられる電力変換器についてもCISPR11の範疇ではあるが、現時点では規格化の要求はない。

3. 今後の活動計画・課題

a) 20kVA 以下 GCPC の 2nd CD の文書化検討,及び発行

英国チェルトナム会議の審議結果に基づいて文書作成後に発行する。(2月中旬目途)

b) 20kVA 超 GCPC の 3rdCD の文書化検討,及び発行

英国チェルトナム会議にて結論に至らなかった DC-AN を電圧プローブとして用いて直流ポートを測定する測定方法 B について、具体的な測定方法、及び許容値に対する適合判定の方法について ad-hoc group で検討を継続し、その結果を基にして文書を作成する。(2 月中旬目途)

c) 2014 年の FDIS 発行に至る計画

今後の発行文書と国際会議開催予定

		20kVA 以下 GCPC	20kVA 超 GCPC	国際会議
2013年	2月	Observation 修正発行 2nd CD 発行	Observation 修正発行 3rd CD 発行	
1	6月	resolve the CCD	resolve the CCD	フランス_パリ会議
1	7月	1stCDV 発行		
1	10 月	resolve the CCDV		カナダ_オタワ会議
1	11 月	2ndCDV (1stCD が否決された場合)		
2014年	5月	resolve the CCDV		韓国会議
2014年		FDIS 発行		

d) 次回の会議開催

次回の MT-GCPC 会議は6月13日、14日の2日間、フランスのパリで開催される。

以上